

## 2018年度 「応用演習」 ミニシラバス (観光学科)

|                   |  |
|-------------------|--|
| 担当者名              | 黒沢 直樹  |
| 授業のテーマ            | 宿泊ビジネス入門   |
| 授業の内容<br>(200字程度) | ホテルだけでも世界中に様々なブランドで展開している国際的チェーン、国内資本のシティ・リゾートチェーン、ビジネスチェーンなどがあり、グレードも最高級のおもてなしを提供するホテルから価格訴求型ホテルまで様々なホテルがあります。日本独特の旅館や民宿・ペンション、カプセルホテルなども加え宿泊ビジネス全般について経営・運営の相違や課題・改善点・今後の方向性など基本的知識を学びます。グループで興味のある企業・業態について調査・分析等を行い、パワーポイントで発表する。授業の一環としてホテル見学をできる限り行うつもりです。 |
| サブテキストなど          | 必要に応じ指示します。  |
| お勧め対象             | 宿泊ビジネス(特にホテル)に興味のある学生。周囲と協調しながら主体的に行動できる学生。  |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 担当者名              | 小島 克巳  |
| 授業のテーマ            | 英語で学ぶ「国際交通」  |
| 授業の内容<br>(200字程度) | この授業では、世界の航空会社、空港、鉄道といった国際交通に関する英語の資料や文献を読むことで、国際交通の基礎知識の習得と英文読解スキルの向上を目指します。国際交通と国際観光は密接に関係しており、この授業で学ぶ内容は国際観光の理解にもつながります。また、実際の海外旅行の際にも役立つ知識となるはずで。毎回の授業で発言を求めますので、しっかりと予習することが必要です。また、グループワークやディスカッションも取り入れる予定です。 |
| サブテキストなど          | 授業の中で指示します。  |
| お勧め対象             | 国際交通や国際観光に関心があり、海外旅行が好きな学生に勧めます。   |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 担当者名              | 菅原 周一   |
| 授業のテーマ            | 企業・業界を知ろう   |
| 授業の内容<br>(200字程度) | 企業が公表する各種情報(決算短信、アニュアルレポート、中長期経営計画等)をもとに、企業・業界の実態を分析、評価します。対象企業は観光関連企業(航空会社、ホテル、旅行会社、ブライダル企業等)を中心として、日系企業だけでなく、外資系企業を含めて、できるだけ広い範囲をカバーします。なお、企業・業界の実態を知るために、ホテルや工場、企業の見学などもできる限り行う予定です。 |
| サブテキストなど          | 業界研究、企業研究に必要な資料を必要に応じて配布します。  |
| お勧め対象             | 将来の就職先を悩んでいる人、いろいろな企業を知りたい人、これからの日本について知りたい人。   |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 担当者名              | 杉山 富士雄  |
| 授業のテーマ            | 現代産業組織論で読み解く『地方温泉旅館の再生・活性化』の事例研究  |
| 授業の内容<br>(200字程度) | 地方温泉旅館の成功・失敗事例から日本のホスピタリティ産業の企業組織と企業の競争戦略に関して、その現状と課題を学ぶ。<br>加賀屋、湯河原つばき、伊豆・天城荘、京都・菊水、山代温泉・白銀屋、有馬温泉、由布院、群馬県・草津温泉、四万温泉、福島県・東山温泉、飯坂温泉、ハワイアンズ、ハウステンボス、スーパーホテルなど出来るだけ多くの事例をリサーチ、プレゼンテーションの手法で学ぶ。 |
| サブテキストなど          | 授業中に必要に応じて指示。   |
| お勧め対象             | 1、湯河原・小田原地区の学外調査(5月末か6月初旬)<br>2、川越・秩父地区の学外調査(7月中旬)<br>学生の希望次第で、鬼怒川温泉・宇都宮地区に変更可能。土曜日の午後に2回の現地調査に行きます。日本のホスピタリティ産業、特に日本旅館のマネジメントを学びたい学生にお勧めします。   |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 担当者名              | 高井 典子   |
| 授業のテーマ            | An Introduction to Tourist Behaviour<br>(観光行動研究入門-「旅するひと」と「社会」の関係を学ぶ)   |
| 授業の内容<br>(200字程度) | ひとの観光行動は社会の諸相から影響を受け、また同時に観光客のまなざしやふるまいは訪問先の地域社会に各種の影響を与えています。ひとは何故旅をするのか？ひとは旅を通してどのような経験をするのか？その経験はひとをどう変えるのか？旅する人の行動は社会をどう変えるのか？<br>観光行動の理論や実際を、日本語・英語の文献講読・発表・討論、英語を用いたフィールドワークを通して学びます。 |
| サブテキストなど          | 講義の中で指示します。   |
| お勧め対象             | 私たちと社会の関係を「旅」を通して考えたい人。<br>英語文献を用いて観光を学びたい人。<br>フィールドワークでは、大学の外に出て英語を使った調査を行うので、その意欲のある人にお勧めします。毎週「宿題」もあります。覚悟のある学生の履修をお待ちしています。  |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 担当者名              | 黛 陽子   |
| 授業のテーマ            | 第6次産業とグリーン・ツーリズムを国際的に考える   |
| 授業の内容<br>(200字程度) | 農村の経済活性化対策とバカンスの過ごし方の1つの選択肢、また、農業以外に金銭収入を増やす機会が見いだすににくい貧困を抱える発展途上国の田舎の小産業作りとして、グリーン・ツーリズムで地域を活性化する方法を学び、そのあり方を皆さんと一緒に考えていきます。グリーン・ツーリズムとは、ルーラル・ツーリズム、アグロ・ツーリズムとも理論を同じくします。グリーンとは農山漁村を示します。農業や牧場、林業や漁業などを体験しながら、地域の人々と交流し、かつ滞在型のプログラムのことです。授業では、配布事例を題材としながら以下を行います。<br>・個人の考えをまとめることやグループディスカッション<br>・各自の発表(パワポを使用することも) |
| サブテキストなど          | 随時配布   |
| お勧め対象             | 国際的視野から、農林漁業を活かしたツーリズムによって地域活性化を考え、実際にツアー作りをしてみたい方にお勧めします。   |